

### 3 学期終業式 式辞

みなさんおはようございます。弥生も半ば、春の暖かさを感じる季節となりました。本日は3学期終業式、令和5年度が終了します。一つの区切りの日です。まずは、本年度みなさんにお伝えしたことを振り返ります。「思考は現実化する」「思いやり」「学ぶこと」「2050年問題」「情報化社会の課題」「やさしさを表現する勇気」「夢の実現」「レジリエンスを高めるためのポイント」「本校のスクールミッションの骨子：ウエル・ビーイングな学校づくり」などについて、みなさんに心を込めてお伝えしました。どうでしたか、理解し実践いただきました？ 時間のある際に振り返って見てください。私の立場で本年度を振り返りますと、教科の学習や探究的な学び、部活動、学校行事などみなさんの自己実現に向かう様々な挑戦、そして成長。生徒のみなさんに寄り添う先生方の教育的愛情が都度確認できました。本校、総じて飛躍の年であったと捉えています。みなさんと共に更に高みを目指したいと思います。

それでは、本年度の結びにあたり、今みなさんに伝えたいことを2点お伝えします。

1点目は変化に対応した学びについてです。進化論を唱えた自然科学者は「強さや賢さより、変化に敏感であることが大切」と唱えています。私も同感です。価値観は変容しています。新たなことを拒否せず変化に対応し出会った人や環境から学び続けて下さい。特に、自分自身の考えや思いを表現できる言語能力が昨今大変重要です。

次に自立についてです。本校のスクールミッションの骨子は、くり返しお伝えしていますが、ウエル・ビーイングな学校づくりです。この理念はグローバルに浸透することを願っています。実現に向けては折に触れみなさんにお伝えしている周囲への思いやりがもっとも重要です。自分自身の思いのままに動くのではなく、自分の思いをもコントロールし、他者のために動き、他者の幸せを願う人が真に自立した人であり、そうなることが人としての真の成長、成熟であると思います。以上記憶に留めていただければ幸いです。

さて、まもなく新年度が始まります。希望と理想を描き新たな歩みを始めて下さい。同時に新入生が入学します。上級生としての自覚を持ち新入生を暖かく迎えて下さい。

終わりになりますが、新年度が本校関係者すべてのみなさんにとってより飛躍の年となることを祈念して式辞とします。

貝塚南高等学校長 藤田繁也